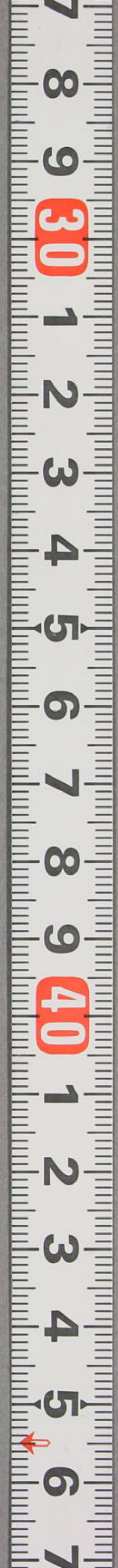
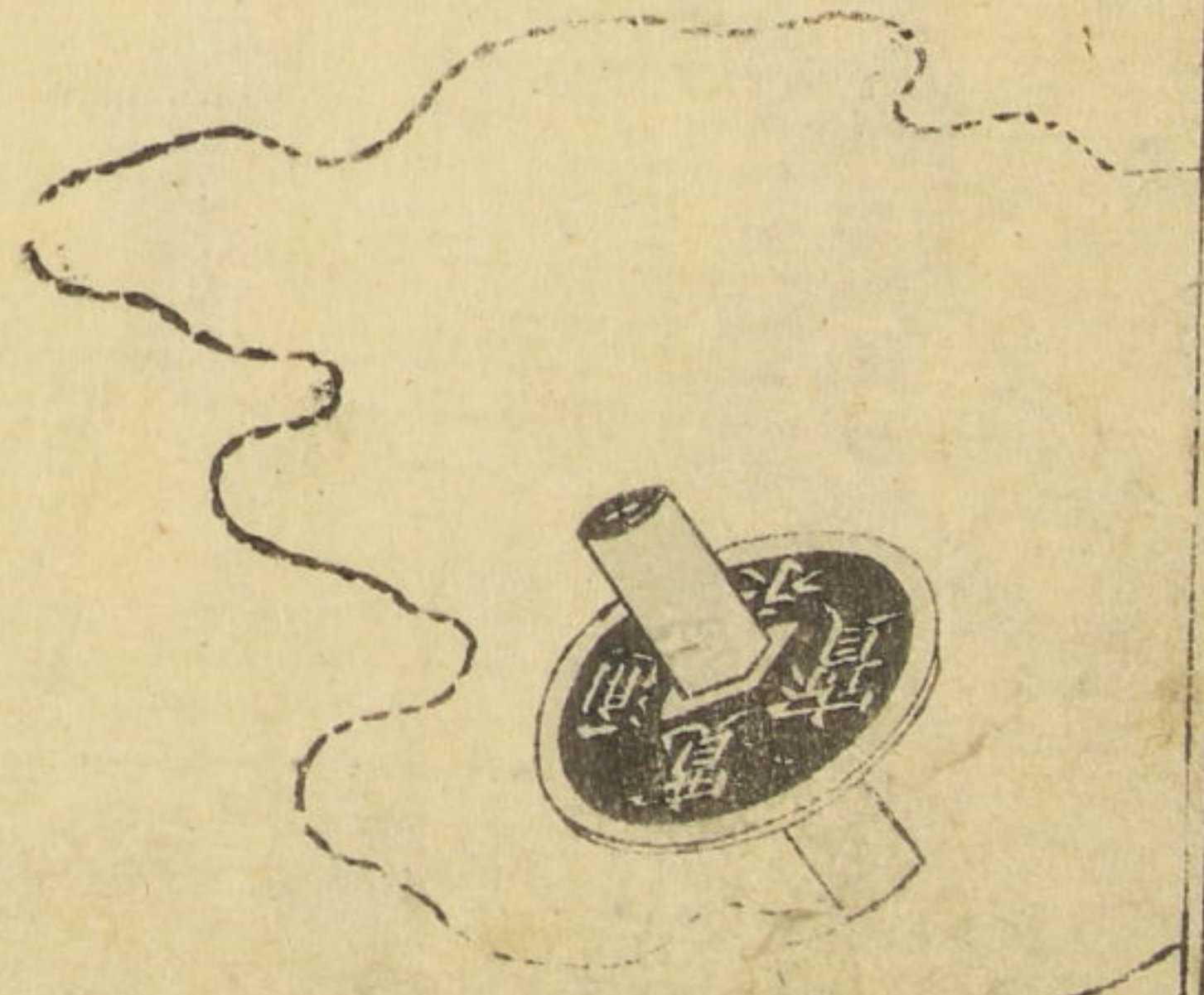


~ 13
3750
12



3750
12

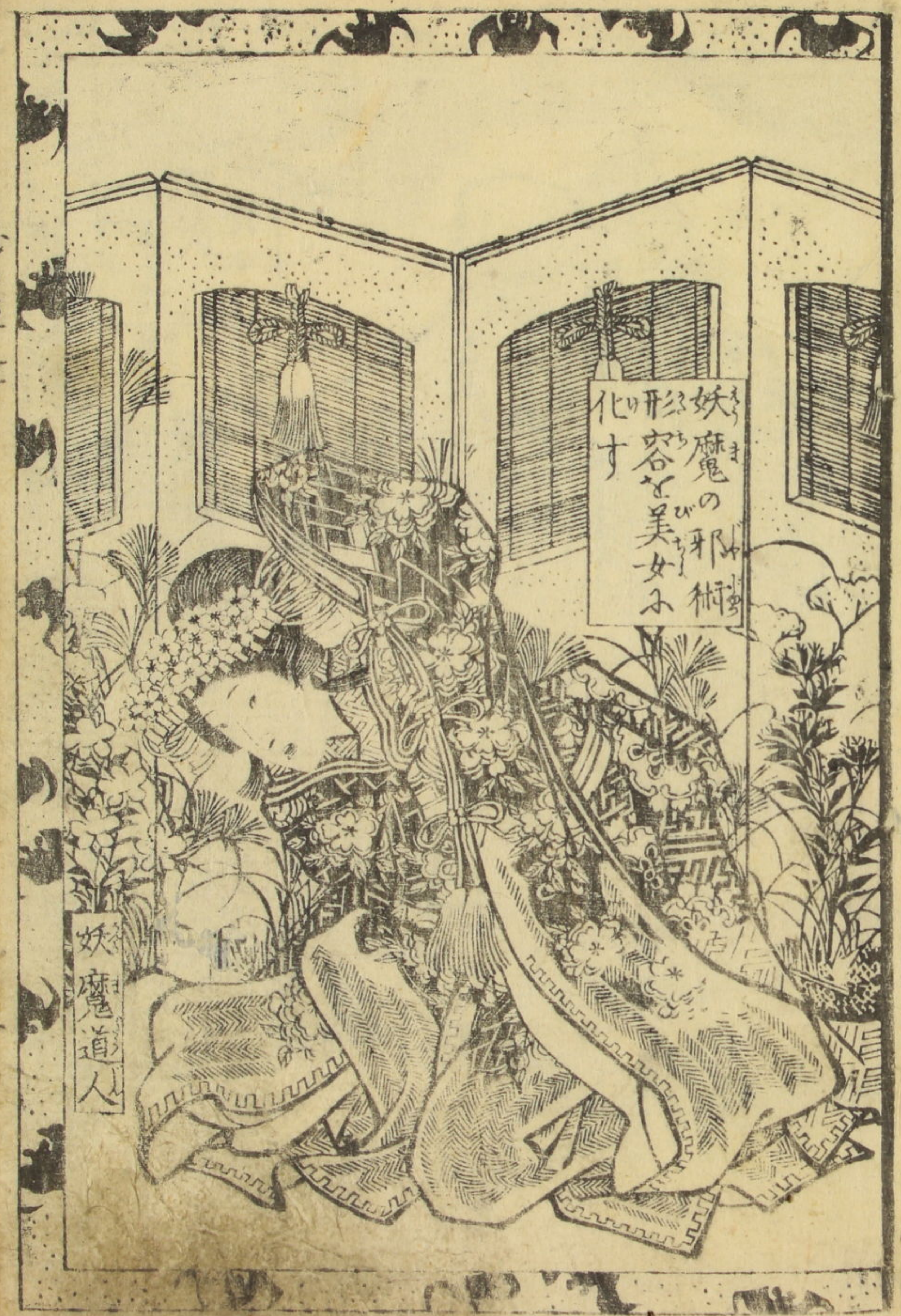
考
妙くよま
七編の
國貞画
考去梓
と



一日上野山下を過る廣地の中を觀場ありて看板あり種々の獸は相撲を取る
由見衆ハ傾ふ入る者ともいひて何れとて相手が一疋の猿あり大豚組理りと
と替々に取組と一奥のものもはるく其をる歸路より不斗廻慮を妙る車
の策子りり獸の群山のりぐるもゆるまじ先荒栲ク恩を鯉言あり報る
能て發着不成檻の小熊洪水不流る大猫うろ口画小虎あり志度六々
考の爲り殺野猪しかどくくるといふ許多けれども相手も稗官の鏡面ふ泰詰ダ
其の形容の變り編ハ狼狐鹿兎獺麿りいふも更邪術の鏡面ふ泰詰ダ
昭々可笑の一幕院本なるハ枚氣の一段然地名ハ牛瀧山まの
午の歳も的と

安政五年正月
柳下亭種員記

少々車七



妖
魔
の
邪
術
の
形
容
を
美
女
と
化
す

妖
魔
道
人



鏡
車
の
法
力
妖
魔
道
人
乃
は
幻
術
と
怪
く
妙
々
道
人

曲
五
國
全



少車七



如女車七



越後國廣瀬
谷の推夫
大太郎



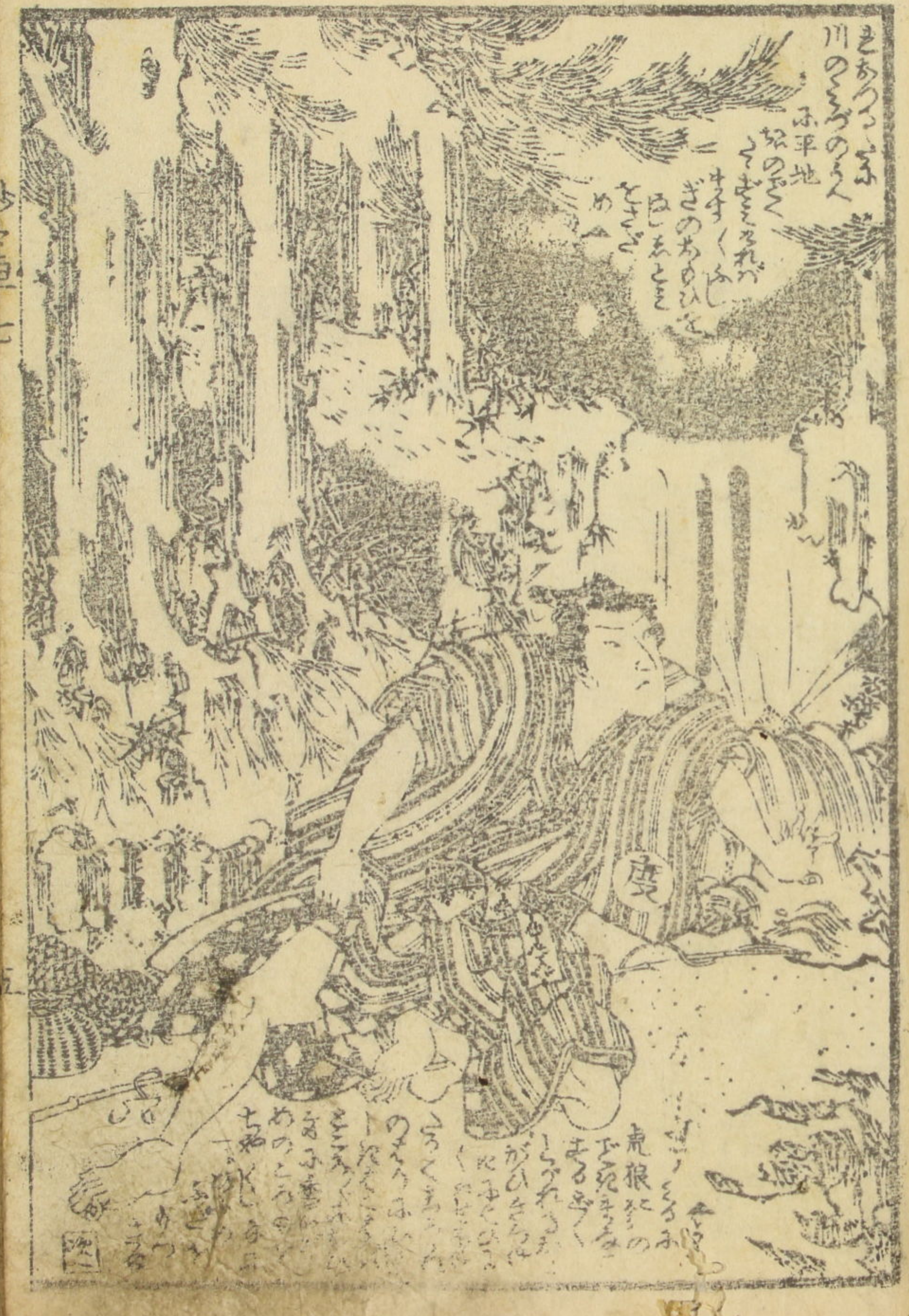
并風雨
農夫
切平

曲立國



モハヒトモヒトモ
あぢきなく
うそをまの
こころの
谷川の
の若上は
ふあつてまわ
めいふら
かゝるさ
のまの
なれが
むらさ
若さ
あつちふ
ふちと
くち
くち

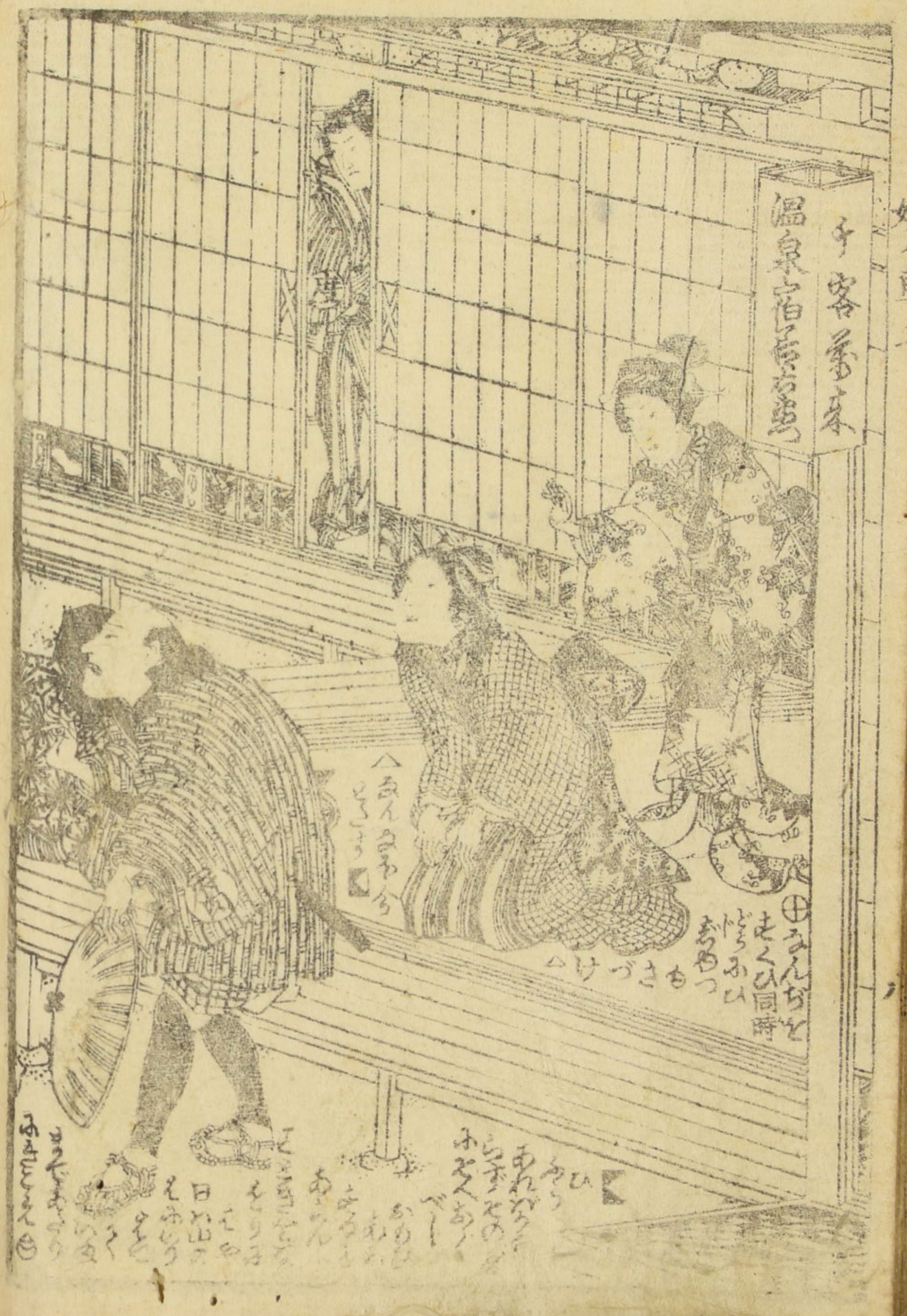
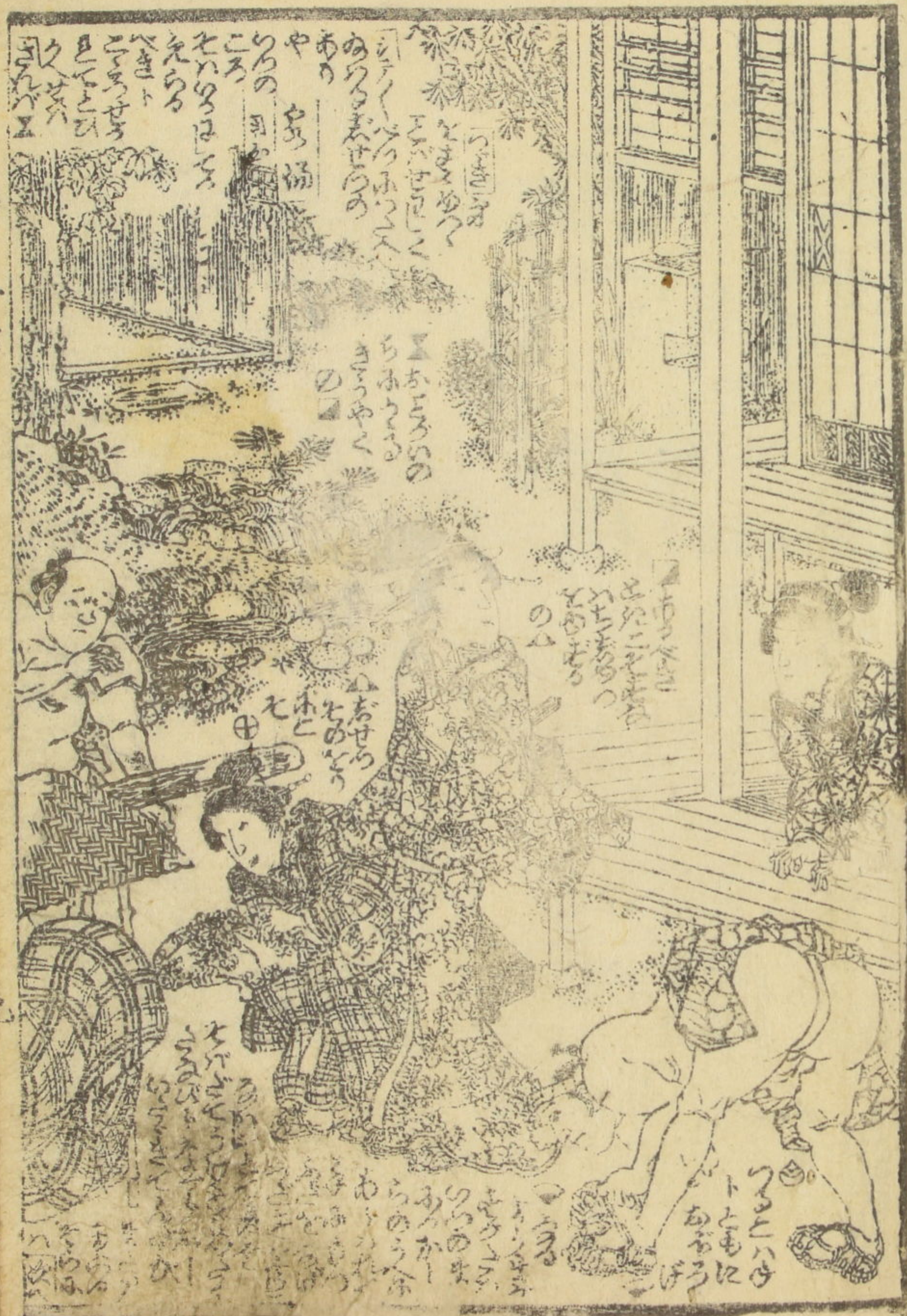
如

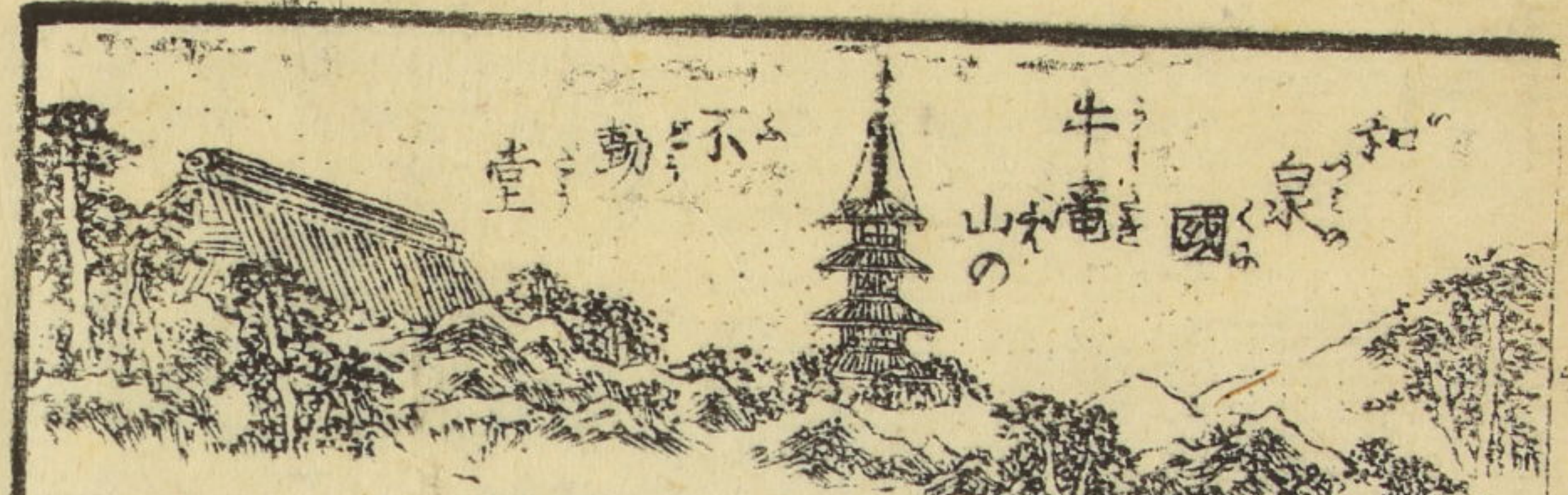


まの
川の
ふ平地
の
なすく
まの

虎根
まの
がひ
あつち
ふち
くち
くち

如





種員作國貞画

實母散

本家
 此方実母の爲の中を、南てん目、
 々々年来賣弘多あり、此店もせ、
 向あから、司、つ、り、十、り、ち、
 中橋南傳馬町二丁目東、
 十葉堂孝輔製

新局九尾傳

四編より
 九編まで
 梅蝶樓國貞重
 爲永春水作

鼠祠通夜譚

初、追々出板
 柳亭種彦作
 梅蝶樓國貞重

信州鼠の里ある和泉小僧と云少年鎌倉殿の脱逃三浦二階堂其
 諸大家ゆて許すの財寶を盗と名を高くせし物語耳新し奇聞
 和列山辺氏の貞慶の事蹟小綴合せし高評を希

